

東海アクシス看護専門学校自己点検・自己評価

1 自己点検・自己評価の経過

本校は、平成 18 年自己点検・自己評価委員会を設置し、平成 27 年度から本校の年報やホームページにて自己点検・自己評価の一部を公開している。

自己点検・自己評価の方法は、厚生労働省の「看護教育自己評価指針」や文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン、項目別自己評価表（例）」、静岡県の「看護師養成所（3年課程）自己点検表」を参考に、本校に合致した「学校自己点検・自己評価表」を作成し、それに基づき評価した。なお、学校自己点検・自己評価表の項目は、自己点検・自己評価委員会にて毎年見直しをしている。

授業評価については、平成 21 年度から取り組み、毎年冊子「実践報告～カリヨン～」として業務報告書にまとめている。

ここに、自己点検・自己評価の主なものを一部公開する。

2 評価と課題

項 目	評 価
教育理念 教育目的 教育目標	<p>教育理念・教育目的は、常に学生や教職員が確認できるようにしていた。しかし、時代の背景に沿った教育目的・目標の必要性から、再確認を要するものである。</p>
学校運営	<p>学校運営方針を掲げ、教職員に周知した。また、教務課、総務課に必要な人員は確保できた。教職員間は、会議等にて協議・報告し、情報を共有したため、円滑に業務が遂行できた。</p> <p>将来構想である本校の目指す姿「中東遠地域の看護実践力を磨く“軸”」に向けて、リーダーを中心に重点6項目について情報交換しながら始動した。</p> <p>今後、教員確保については、関係者への周知を図っていく予定である。</p>
教育活動	<p>教育課程については、学生のキャリア教育の一貫として、キャリア形成科目を開設した。授業に必要な教材は揃え、年間教育計画のとおり執行した。授業科目の単位認定の結果に基づき、3 学年において皆勤賞 4 人、成績優秀賞 1 人の表彰を行った。</p> <p>また、領域毎にルーブリックを活用した教育評価の見直しを行い、教員による授業評価発表会を通して共有の機会を得た。</p> <p>学籍管理については、劣化防止に向けて学籍簿の用紙を変更したが、成績や学籍入力方法においては、課題が残る。</p>

		<p>図書室については、古い資料の整理や購入本を紹介し、図書室の利便性を高める努力をしたが、図書の貸出冊数は、昨年度より減少した。</p> <p>綿密な調整を経て、本年度新たに精神看護学実習を管外の病院でも実施した。今後、実習場の確保については課題が残る。</p> <p>臨地実習指導者会では、「実習での学びを大切にす る真に有効なリフレッシュ」をテーマに研修会を行い 64人の参加を得た。今後、更に強固な連携から、指導 の質を向上させる必要がある。</p>
入学	<ul style="list-style-type: none"> ・入学に関すること 	<p>入学試験委員会にて、受験生の確保のため、平成29 年度実施の推薦入学試験要項の住所要件と評定要件 を変更し、定員数の学生を確保できた。</p> <p>また、入学予定者を対象に入学前学習を行った。</p> <p>今後、看護師の適性を有する学生の確保に向け、入 学試験選抜科目に適性検査を導入する予定である。導 入に当たっては、教職員全員で適性検査の特徴を学習 した。入学後には、教育の手立てとして活用していく。</p>
学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境及び学習支援 ・生活の支援 ・国家試験合格支援 	<p>国家試験については、担当者を中心に学生の特徴と 国家試験の分析・傾向から対策を立て、チューター教 員とともに支援した。学生全員が合格できた。</p> <p>学生の経済的支援として「専門実践教育訓練講座」 の指定有効期間により再指定手続きを行い、学生の利 活用に繋げた。また、学生が奨学金制度を活用しやす いよう情報提供した。</p> <p>流行性の感染症については、啓発と共に予防接種を 推奨し、健康管理に努めた。カウンセリングは、学習 の進捗や内容の特徴を考慮して24回/年計画し、 体制を整えた。</p>
就業 進学 卒業	<ul style="list-style-type: none"> ・進路決定 ・卒業生の把握 	<p>学生は、自身の志望する病院や助産師学校へ進むこ とができた。管内5病院への就職者は、卒業生60人 中56人(91.8%)であった。</p> <p>卒業生に対しては、管内5病院における卒業後3か 月訪問、卒業生就業状況等の調査をし、把握した。</p>
地域社会 への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携と社会への情報発信 ・近隣関連施設との連携 	<p>受験者等へ本校の情報を的確に提供するため、ホー ムページをリニューアルし、スマホ版を新たに設け た。</p> <p>オープンキャンパス、宣誓式、カリヨン祭等、地域 の多くの方に参加いただいた。</p>

		<p>また、「地域医療シンポジウム」の後援や地域住民の主催するイベントへも学生がボランティアとして参加した。</p> <p>看護師の生涯教育への支援として、学校を研修会場として提供した。</p> <p>管内の小・中学生の見学や職業体験を11校受け入れ、社会に必要な看護職の理解に繋げた。</p>
国際交流	・国際的な視野を広げるためのシステム	<p>海外留学等についてのパンフレットを学生に提示し、情報提供に努めた。</p> <p>元青年海外協力隊の看護師による国際支援の実際について講演を行い、国際的な視野を広げる機会となった。今後は、更に視野を広げるため、異文化交流の機会を設けるなどしたい。</p>